



▲自分の好きな漢字一文字を書いてもらった6年生たちは、みんな嬉しそうに色紙を受け取っていました。

関川小6年生へプレゼント

関川ふれあいサロンから 卒業生へ江戸文字色紙を贈呈

3月4日、関川地区で活動している関川ふれあいサロンの皆さんが、6年生に、市内在住の江戸文字書家^{たちばなきちや}橘吉也さんの江戸文字をプレゼントしました。代表の小坂部和子さんは「今年度は、多くのイベントが中止になってしまった。そんな6年生に、卒業の記念になるものを贈りたい。そして、市内にこんなにすごい人がいるということを知ってもらいたかった。いつまでもふるさとを忘れず羽ばたいていてもらいたい」と話しました。

きれいな水のためにできること

とびたみゆう 南小飛田美結さん 下水道作文で知事賞特選受賞

南小学校5年の飛田美結さんが、県主催の令和2年度下水道促進週間コンクール作文部門にて、知事賞特選の茨城県知事賞を受賞し、3月8日、谷島市長から表彰の伝達式を行いました。

飛田さんは、作文を書いた理由について「4年生の時に行った霞ヶ浦湖上体験で水が汚れていたの、なんでそうなっているのかを調べたかったから」と話します。受賞作文は市ホームページで公開しています▶



▲（前列左から）谷島市長、飛田美結さん、飛田亮さん
（後列左から）南小学校 小川友美先生、井上勉校長先生

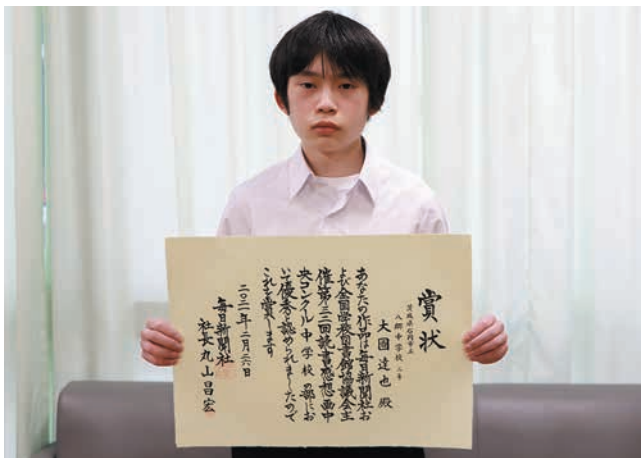


▲代表してイベントに参加した高木さん（写真左）と宮内さん。手作りのボードを作成してライダーたちを迎えました。

石岡商業生考案の酒粕マドレーヌ

県サイクリングイベントにて ライダーたちに配布

3月25日、石岡商業高校生が、市内の洋菓子店「パティスリーシャノワール」と共同で開発した酒粕マドレーヌを、つくば霞ヶ浦りんりんロードのライドイベントで配布しました。参加者からは「しっとりしていて美味しい」「香り高く上品な味」など大好評でした。使用されている酒粕は市内の酒造「(資)廣瀬商店」のもの。このマドレーヌは「茨城の魅力を探り発信する高校生コンテスト2020」でも、アイデア企画作品特別賞を受賞しています。



▲お父さんの影響で絵を始めたという大圖さん。休日は美術館や博物館を巡り、勉強していると言います。

2年連続受賞

八郷中大圖達也さん 読書感想画コンクールで優秀賞

2月26日、八郷中学校3年の大圖達也さんが、第32回読書感想画コンクールの指定図書「よみがえった奇跡の紅型^{ひんがた}」で全国2位となる優秀賞を受賞しました。大圖さんは昨年の同コンクール自由図書部門においても優秀賞を受賞しています。

大圖さんは「なかなか受賞できない賞を2年連続で受賞できたことに信じられない気持ち。これからも、何気ない日常から感じた自分の感性を大切に、絵を描いていきたい」と話してくれました。

地元の魅力を多くの人に知ってほしい

八郷の森で自然体験 『八郷留学』始まっています

代表の原部直輝さんは昨年7月にUターンしてから、八郷地区の有機農家や木工作家、芸術家などと連携し、八郷地区へ“留学”するという設定で、自然体験を提供する『八郷留学』を立ち上げました。

現在は瓦会地区の森を拠点に、活動されています。この活動は、今年2月、関係人口の創出などの目的で県が行う事業「STAND IBARAKI」でMVPを獲得しています。

詳しくはFacebook ページ「八郷留学」から▶



▲(写真左から)井上岳さん、大重雄暉さん、原部直輝さん、綿引佑香奈さん。自然とともに暮らす楽しさを伝えています。

20年以上にわたり企画展開催

関甲太郎さん(86) 文化芸術活動で県から表彰状

関さんは、第3回開催から石岡市企画展の実行委員として活動。第8回開催から現在に至るまで委員長を務めており、たくさんの著名な芸術家の優れた作品を企画展で展示しています。

昨年11月の第24回石岡市企画展では、6日間で819人が鑑賞に訪れました。「コロナ禍で、芸術に触れる機会も極端に減ってしまった。でも、どんな状況でも人には芸術や文化が必要だと思う」と関さんは話します。



▲表彰状を持つ関甲太郎さん。「文化芸術活動における茨城県知事表彰」において長年にわたる功績を讃えられました。